

IT 資産管理とは？ ツールを導入するメリット

IT 資産管理とは、コンプライアンス強化とセキュリティ対策を目的として、企業内のハードウェアやソフトウェアなどの IT に関連する資産を管理することです。

近年、IT 資産管理の仕方が複雑化しています。使用するデバイスやアプリケーションが増加かつ多様になっているためです。その解決策として、IT 資産管理ツールの導入が挙げられます。

本資料では、IT 資産管理について解説するとともに、IT 資産の把握だけに留まらない、IT 資産管理ツールを導入するメリットをまとめました。

内容

IT 資産とは？	2
IT 資産管理とは？	2
IT 資産管理ツールを導入するメリット	2
セキュリティリスクを抑える	2
コンプライアンスを維持する	3
IT コストを最適化する	3
終わりに	4

IT 資産とは？

IT 資産とは、一般的に企業が保有しているハードウェア（パソコン、スマートフォン、プリンター等の物理的な情報端末）、ソフトウェア（Office ソフト、OS 等のハードウェアに内蔵されているアプリケーションのこと）、ライセンス（ソフトウェアやクラウドの使用権利）のことを指します。

IT 資産管理とは？

IT 資産管理とは、IT 資産の数量や所有者、契約期間等の情報を把握することです。

IT 資産は企業が保有する固有資産であるため、適切な把握が不可欠です。例えば、パソコンを管理する場合、調達方法がレンタル、リース、もしくは購入したものなのか、利用者は誰か、どんなソフトウェアを利用しているのか、ソフトウェアのバージョンやセキュリティが確保されているのか、ソフトウェアのライセンス情報があるのかなどの確認が必要です。さらに、パソコンに付随しているソフトウェアやライセンスまで把握しなければ、適切な IT 資産管理とは言えません。とはいえ、それらの情報の確認を、IT 部門担当者が端末一つ一つに対し行うことは困難です。利用端末数や種類が増えるほど負担がかかります。

この問題を解消する効率的な方法の 1 つが、IT 資産管理用のツールの活用です。IT 資産管理ツールはハードウェア、ソフトウェア、ライセンスの情報を一元的に把握する機能を有しています。

IT 資産管理ツールを導入するメリット

IT 資産管理ツールを導入すると、IT 資産の把握だけに留まらず、様々なメリットを得られます。

セキュリティリスクを抑える

企業における一般的なセキュリティ対策として、アンチウイルスソフトの導入等のエンドポイントセキュリティや、ファイアウォールなどのネットワークセキュリティが挙げられます。しかし、それだけでは万全といえません。IT 資産管理を徹底していないと、セキュリティリスクを招く可能性があります。

セキュリティリスクの具体例には以下が挙げられます。

- ・ Windows Update を実行せず、OS の状態を最新にしていないパソコンを使用している
- ・ ウイルス対策ソフトウェアをバージョンが古いまま使用している
- ・ ソフトウェアのライセンス有効期間を無視して使用している

IT 資産を適切に管理することによって、ソフトウェアの使用状況やバージョンアップ状況の把握はもちろん、最新性が保たれていない端末に対して、バージョンアップやソフトウェアの導入を促すことが可能になります。よって、企業全体のセキュリティリスクを最小限に抑えることにつながります。

コンプライアンスを維持する

コンプライアンス違反の一つとして、ソフトウェアライセンス違反が挙げられます。

ソフトウェアの購入形態によっては、購入ライセンス数を超えて利用できます。そのため、誰かが無断でインストールして使用することがあり得ます。また、フリーのソフトウェアの場合、個人利用時とは別に、商用利用時の規約を設けていることがあるため、知らずに規約違反している可能性が否めません。

一部のソフトウェアベンダーではライセンスが適正に利用されているか監査を行っています。この監査のタイミングでライセンスを適切に利用していないことが発覚した場合、違反企業に対し、ソフトウェアベンダーから損害賠償を請求されます。違反企業は、賠償金の支払いはもちろん、社会的信用を失うことが懸念されます。

IT 資産管理ツールでは、フリーのものを含めたソフトウェアのライセンス管理ができるため、ライセンスの不正利用を避けられ、コンプライアンスを維持できます。

IT コストを最適化する

IT 資産管理ツールにより、IT 資産の利用状況から、誰も利用していないハードウェアやソフトウェアを把握できます。これにより、余剰 IT 資産を再割り当てや廃棄でき、IT コストの最適化を図れます。

IT 資産管理ツールによっては、ソフトウェアアプリケーションの実行回数まで細かく把握できます。利用状況が少ないソフトウェアの見直しをかけることで、さらなるコストの削減を行います。

また、従業員が増えた場合にも、必要以上にハードウェアやソフトウェアを準備することなく、既存資産を割り当てられます。

終わりに

当社は長年にわたり IT 資産管理ツールを取り扱い、2006 年より統合 IT 資産・セキュリティ管理ツールである Ivanti（当時名称：LANDesk）を手掛けています。Ivanti ゴールドパートナーとして、提案、導入構築、アフターフォローを行っています。海外にも事業展開する大手企業様に対し、多数の導入実績があります。

Ivanti は、一つのコンソール上から、本記事で取り上げた IT 資産管理、セキュリティ対策、コンプライアンス対策、IT コスト最適化まで実現できます。

また当社は広範なセキュリティ対策製品により、ネットワークインフラからエンドポイントまで、お客様のニーズに応じた包括的なソリューションを提供しています。

IT 資産管理、セキュリティにお悩みの際は、お気軽にご相談ください。

【統合 IT 資産・セキュリティ管理ツール : Ivanti】 <https://www.tdi.co.jp/ivanti/>

【セキュリティソリューション】 <https://www.tdi.co.jp/category/security>

【当社・取り扱い製品へのご意見・ご質問・お問い合わせ】 <https://www.tdi.co.jp/inquiry/>



情報技術開発株式会社

営業本部 iDC&セキュリティ推進部

東京: 〒163-1332 東京都新宿区西新宿六丁目 5 番 1 号 新宿アイランドタワー32 階

TEL.03-5325-4826 (直通) FAX.03-5325-4812

中部: 〒451-6027 愛知県名古屋市西区牛島町 6 番 1 号 名古屋ルーセントタワー27 階

TEL.052-571-6871(代表) FAX.052-571-3856

関西: 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島二丁目 2 番 7 号 中之島セントラルタワー20 階

TEL.06-6201-7739(代表) FAX.06-6201-7740

九州: 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目 10 番 1 号 福岡ビル S 館 7 階

TEL.092-451-8218(代表) FAX.092-474-7379